

町政を問う

「町の防災計画」の策定を急ぐべきではないか！



小村 公洋

本町の防災について

小村 伯耆町の防災計画の進捗状況は？

いつ頃できるのか。

町長 現在作業中で、煮詰まったところで意見の交換をする。ただし、緊急避難等の急ぐものは、暫定的に運用する。

小村 災害への、住民の意識調査は。

町長 区長、民生委員などの意見は聞いた。住民への調査は今のところ考えていない。

小村 地域住民の伝承と危険度の聞き取りも必要ではないか。

併せて、避難順路及び避難場所も明記すべきではないか。

町長 場所などは明記する。順路については、現場で実行性あるものとした

防災避難場所などを明記しないか

町長

現場で実行性のあるものとしたい

小村 公民館等の避難場所には、発電設備が必要ではないか。

町長 防災計画で課題として認識し、とり入れる考えである。

学校教育について

小村 本町の学校教育で特色あるものは。

教育長 スクラム教育（推進授業で学びの指導）コミュニティースクール（保護者と共に学校運営に参画していただいている）モジュール学習（脳トレなど）

小村 熱中症状の対策と発生件数は。

教育長 エアコン整備の備わっている室内で対応している。暑さ対策は不可欠である。ソフト面では、必要に応じて帽子着

用、水筒持参としている。発生件数は、昨年三件、今年一件となっている。

原発について

小村 町長として将来原発の必要性をどのように考えているか。

町長 できるだけ原発には依存しない方がよい。国民の基本的な考えである。

小村 事故発生時には、情報収集と発進力を密にして組織力を発揮して住民の安全安心を確保してほしい。（願いたい）

小村 スピーディーについての情報収集と町民への伝達は。

町長 国の施策基準で新しくEPZ（三十km圏内避難）（五十km圏内、室内待機）が設けられた。国、県の情報収集を的確

原発事故発生時の安全確保対応は？

町長

情報収集に努め、避難ルートを考慮中である



こしき保育所防災訓練

かつ迅速に提供できるように、あらゆる手段をもつて行う。

併せて避難ルートを考慮中である。